

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門科目	442	1年	前期	臨床検査学科	必修	臨床検査学概論 Introduction to Laboratory Medicine	15	1
担当教員								
祇園 由佳	瀧 智子	細川 翔	矢野 弘子	藤井 萌				
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
○	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
臨床検査は、患者の病態や健康状態を把握するために必要な生体情報を提供する学問である。今後、専門科目を学ぶために、臨床検査技師の基本的な業務を理解し、使命および他の医療職種との連携について理解する。								
到達目標（授業目標）								
①臨床検査技師の業務と役割、社会的使命、歴史的背景を理解できる。								
②各分野の検査内容を理解できる。								
③各分野の検査の特徴や意義、必要性などを理解できる。								
④他の医療職種との連携を関連性を理解できる。								
授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
回								
1回	臨床検査とは（1）：臨床検査技師の業務と役割、臨床検査技師誕生のあゆみ（担当：祇園由佳）							
2回	臨床検査とは（2）：臨床検査の意義、チーム医療における臨床検査技師の役割、臨床検査の目的と結果の解釈（担当：祇園由佳）							
3回	臨床検査技師の業務（1）：一般検査・生化学検査の目的と業務内容、他職種連携、検体の取り扱いと保存の重要性について、実務経験に基づき概説する。（担当：矢野弘子）							

4回	臨床検査技師の業務（2）：免疫血清検査・微生物検査の目的と業務内容、他職種連携、検体の取り扱いと保存の重要性について、実務経験に基づき概説する。（担当：藤井萌）							
5回	臨床検査技師の業務（3）：血液検査・病理検査の目的と業務内容、他職種連携、検体の取り扱いと保存の重要性について、実務経験に基づき概説する。（担当：細川翔）							
6回	臨床検査技師の業務（4）：生理機能検査の目的と業務内容、他職種連携、検体の取り扱いと保存の重要性について、実務経験に基づき概説する。（担当：濱智子）							
7回	発展学習（1）：「自分の目指す臨床検査技師像」をテーマとした発展学習。 これまでの講義のなかで興味を持った分野、様々な場面で活動する臨床検査技師について理解を深めるため、グループワークを実施する。 （担当教員全員）							
8回	発展学習（2）：「自分の目指す臨床検査技師像」をテーマとした発展学習。 パワーポイントを用いた発表、意見交換を行う。（担当教員全員）							
9回								
10回								
11回								
12回								
13回								
14回								
15回								
16回								
17回								
18回								
19回								
20回								
21回								
22回								
23回								
24回								
25回								
26回								
27回								
28回								
29回								
30回								
成績評価方法及び基準								
授業への取り組み（30%）、グループワーク・演習（70%）により評価する。トータル60点以上を合格とする。								
教科書	必要に応じて、担当教員が適宜紹介する。							
参考図書等								
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）								
グループワーク・演習の準備等が必要な場合がある。								
関連科目								
前科目	140	医療概論（共通）	144	人体の構造・機能Ⅰ	145	人体の構造・機能Ⅱ		
後科目	146	人体の構造・機能Ⅲ	401	分析化学	402	生化学		
実務家教員								
臨床検査技師（医療機関）	祇園 由佳		濱 智子		細川 翔		矢野 弘子	

備考						